

館 報



お お く ま

— お も な 内 容 —

- 2 面……家庭バレー・ソフト大会成績
- 3 面……民話・学校施設使用手続
- 4 面……分館活動、行事予定
- 5 面・6 面……みんなの広場

発行編集 大熊町公民館
印刷所 新栄社写真美術印刷



燃えろよ
燃えろよ
燃えろ

燃えろよ 燃えろよ
炎よ燃えろ
火の粉を巻きあげ
天までこがせ
照らせよ 照らせよ
真昼のことへ
炎よ渦巻き
闇夜を照らせ
燃えろよ 照らせよ
明るくあつく
光と熱のもとなる炎

キャンプファイヤーの唄
七月二十八日 熊川キヤ
ンプ場においてのスポー
ツ少年団野外研修会

家庭バレー・壮年ソフト 駅前が二連勝

町民体育祭採点種目のひとつである家庭バレーボール並びに壮年ソフトボール部対抗試合は、去る七月十日大熊中学校庭並びに大熊町体育館の二会場においてにぎやかに開催された。

当日は晴天に恵まれたスポーツ日和となり、約二五〇名の選手と各部落の応援団多数がつめかけ、応援合戦をするなど楽しい一日となった。特に家庭バレーと壮年ソフトは、町民の体力つくりスポーツとして定着してきたため各選手とも腕が上達し、白熱したプレーが展開され、駅前が両種目とも優勝を飾った。なお成績は次の通りです。

- 優勝 駅前
- 準優勝 野上
- 三位 下野上

- 優勝 駅前
- 準優勝 夫沢
- 三位 熊
- 三位 下野上

◆壮年ソフトボール

陸上競技大会に勝って

郡中体連

大熊中体育部会

過日、富岡二中グラウンドで行われた郡中体連陸上競技大会は梅雨の晴れ間の絶好のコンディションのもと、終始大熊中学校のペースで運ばれ、他校の選手、父兄を羨ましがらせて参りました。

我が大熊中学校は、統合以来二年間、勝利の女神のその醜い横顔ばかり見て参りましたが苦節三年にしてようやく、勝利の女神は美しいその正面の顔を見せてくれ、しかも、そつと微笑んでくれさえたのでした。スポーツの基礎である走・跳・投を競う陸上競技大会で優勝できたことは、他校の生徒に見られない基礎体力の充実と精神力の強さを身につけてきた証左ともうけとられ、真に喜ばしいことでもあります。又陸上競技大会の良い所は、一人、二人のスター選手の活躍もさること乍ら、一



優勝旗を手にする大熊中生徒

点、二点と少ない点数を積み上げなければ勝てないという選手全員の強調がその根底にあるということです。そのような、良いことばかりが積み重ねられて、ようやく今日の栄冠を勝ちとることができたわけです。

大会当日は、大熊中学校への風当たりの強さは大変なものでした。曰く「大熊中学校の運動会みただ」曰く「大熊中学校の校内陸上競技大会の役員になって来たんではないぞ」等々、知っている顔に会えば必ず悪口雑言を浴びせられ、真にうれしい非鳴の上げっぱなしの一日でした。

このように立派な成績を収めることができたのも、全町挙げてのご支援と、家業をも顧みず、応援して下さいった父兄各位のご協力の賜と深く感謝申し上げます。お

薬草の勉強

七月一日高齢者大学生は新地町にある今神温泉へ研修に出かけた。薬草研究家飯土井鶴吉先生の薬草園視察のためである。

昨年、高齢者大学で薬草の講義を聞いたのがキッカケ、是非薬草園を見たいとの希望で現地研修となったものである。

大広間には百種に余る薬草が揃えられてあった。一時間余りの講義を聞き薬草を見学した。珍らしい薬草もあつたが大部分は山野に自生する野草である。

先生の説明を聞きながら薬草の一本一本をつぶさに見て自分の病気にはどれがよいか、友人の誰には何がよいかを心にきめた。

現在日本人は余りにも薬を服用している。副作用が問題になっている。しかし薬草はその心配がないともいわれている。

今が薬草採集の適期である。天気の良い日を見て採集したいものである。(M生)

成人式……八月十五日

参加者受付中

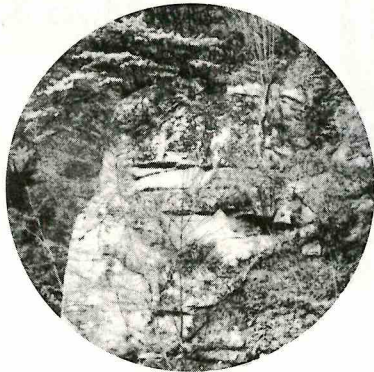
八月十五日は、大熊町の成人式です。各部落の区長さんを通し、成人式への参加者を調査いたしました。報告もれの方は至急大熊町公民館へお知らせ下さい。

昭和三十三年四月二日から昭和三十三年四月一日までに生れた者で当日出席する方。

◆報告様式
氏名・生年月日・保護者名・住所(番地まで)を報告する。
◆成人該当者

民話 てんぐの鹿笛

むかし、大川原の里、葉芹川のほとりに藤兵衛という若者が住んでいました。猟のすきな藤兵衛は、ひまさえあればただ一人、日隠山の奥ふかくわけ入って、いのししやしかや鳥、うさぎなどをとってはじまんに獲物を肩にして帰りましたので、名人藤兵衛とよぶようになりました。



日隠山麓の天狗岩

川から小塚川の流れにそって、日隠山の山ひだ深くわけ入りしました霜月(十一月)もなかばすぎでしたので、もみじした木々が美しく陽にかがやいていました。藤兵衛の腰には、もうキジが二羽、やまどり三羽ぶらさがっていました。ふとみると、せまい山みちのまんなかに、大きな椀にたきたての飯が山ともってばかぼかと白いゆげがたっていました。

藤兵衛はたちどまっ てふしぎそうにながめていましたが、やがて道ばたの巨石に腰を下して、椀の飯をペロリとたいらげてしまいました。「ああ、うまかった」谷川の水で、のどをうるおした藤兵衛が二、三步あるきだしたとき、赤らけた毛の一ぱい

生えている腕が一本ニョキッと道にさしだされました。

藤兵衛は気にもとめずにビョッと腕をまたいだとたん、ワツハツハ、ワツハツハと天をゆさぶるような笑い声が頭上の大木のしげみのあたりから聞こえたかと思うと、ふわりと雲をつくような大てんぐが、大きなうちわを片手に目の前におりたちました。

「藤兵衛、お前は偉いやつだ、ほうびにこれをやるぞ」

てんぐはふところから、ししぶえを取り出して与えながらいいました。

「こんどお前の家に行くからその時は女を全部よそへやっておけ、忘れるなよ」

と念をおしてたち去りました。やがて約束の日がきました。

藤兵衛は早くから妻や下女たちに用事をいつけて使いに出し、酒やさかなを準備して、てんぐの来るのを待ちうけました。やがて約束の時間になったころ、裏の大杉にサワサワとてんぐのおりたつ気配とともに「藤兵衛来たぞ」と

のっそり入って来ました。「二人はさっそく酒もりを始めました。

一方、使いにい出された藤兵衛の妻は、今日の夫の態度がふにおちません。だんだん不安になってきたうえに、好奇心にかられ、抜き足、さし足、家に帰って来て、そつと戸のすきまからのぞきました。とたんに「藤兵衛、きさまは」ハツタと藤兵衛をにらみつけたてんぐは、ふわりと天井の煙出し孔に跳んだかと思うと日隠山のかなたに飛び去りました。

(民話 苦麻川より)

お詫び

六月二十日付、館報九十六号掲載の記事に一部誤りがありましたので次の通り訂正しお詫びいたします。
六面の二段見出し中、熊町小学校教頭と掲載いたしました、熊町小学校教頭、白土俊三と訂正いたします。

使用手続は

町体育館へ

大字小入野字西大和久八四

☎ 三三六〇四

使用料

区分	半日	一日	日夜間
屋体	五〇〇円	一〇〇〇円	二〇〇〇円
教室	三〇〇円	五〇〇円	五〇〇円
校庭	二〇〇円	三〇〇円	

図書室

あんない

この程、県図書館よりあづま号が来町し、新刊図書をたくさん借受けいたしました。また公民館においても子供向け図書を購入し、毎日午前八時三十分(日曜日を除く)より開館しておりますので、お気

軽にご利用下さい。

◎借り入れ図書

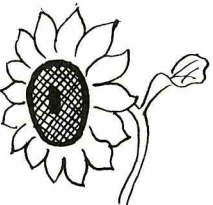
・きつねのよめいり・駅長さんと青いシグナル・水のない海・白鳥の夏・イスラエル最前線・愛と死の戦場・地平線の五人兄弟・二十四の瞳・ひまわり・よこ糸のない日本・家庭教育講座・火のくつと風のサンダル・原子力戦争・肝臓

◎公民館図書

・岩波子どもの本・母と子の名作文学全集・ひろすけ幼年童話文学全集・日本現代文学全集・世界の名作推理全集・古典文学全集・その他多数あり。

◎申請先

スポーツセンター



分館活動

野上3区

健全な 青少年育成をめざす



熱心に討議する、野上3区の人々

夏休みに入って間もない七月二十三日の夜、野上3区公民館では分館活動の一環として、小中学生並びに高校生をもつ父母約三十名が集まり区長、分館長、公民館運営委員を中心に「青少年に明るい夏を過ごさせるために」をテーマに熱心に討議された。

この会には公民館から館長、社会教育指導員が出席し、助言をま
夏休みに入って間もない七月二十三日の夜、野上3区公民館では分館活動の一環として、小中学生並びに高校生をもつ父母約三十名が集まり区長、分館長、公民館運営委員を中心に「青少年に明るい夏を過ごさせるために」をテーマに熱心に討議された。
じいながら有意義に進められた。なお話し合いの内容を紹介しますと。
◆**青少年の非行化防止について**
社会環境から見ると余りにも非行の原因になるような環境（テレビ・週間誌・たまりば等）が多過ぎ、正しい判断力のつかないのが青少年の心理です。親は常に注意をはらわなければならない。
○テレビは時間をきめて、深夜の時間は見せない事です。
○離れ部屋は、どうしても親の目がとどかぬために、たまり場になりがちです。ねる前には必ず部屋を点検することがよいではないか
◆**学生の万引等の防止について**
郡衆心理によるのでグループの点検が大切である。そしてグループに心がひかれると親の心から離れてゆくので親の心から離れないように気をつけること。
○小遣金については空腹時のおやつ代、暑さ時の氷代とか、月千五百円位は与えるべきでしょう。学用品代、その他は必要に応じて与え必ず買った品物の点検を行う。
○家庭の躰については、祖父母、両親が同じ目的で同じ筋の躰をさせる。まぢまぢな躰は子供を不安がらせる。そして子供との距離をできるだけ短くし、何でも話せる親

になることが大切である。また親は話の中心になるよう一歩前に進んで勉強しなければならぬ。
○汗を流させる。子供にやれる適当な仕事を分担させる。
○本になじませよう。感動する心を養うため是非読書をさせよう。
◆**交通事故防止について**
○心の教育が大切。母親の使命は子供を生み育てることにあるが、子供の安全は目を離すな、手を離すなといわれるように、小さいうちから思いやりの心を育てる。歩道橋や横断歩道のわたり方、危険箇所等はよく指導する。
○**自転車の安全教室**
自転車は身体に合ったもの、乗る前の点検（ハンドル・ブレーキ・ライト・反射器等）、左折、右折信号機のある所の交通ルールの指導を行う。
○**高校生のバイク**
バイクは五〇cc以上には乗せないこと。
◆**水難事故防止について**
○子供がでかける場合は、行先を確認すること。
○水に入る場合は必ず準備運動をさせる。
○海はプールと違い充分食休みをし、小中学生は体力に限界があるので気をつける。
○監視員の指示に従う。一人ではゆかない。
その他数多くの諸問題が出されましたが、紙面の関係で省略いたします。

行事予定

- ◆**県総合体育大会(期日及会場)**
期日：八月二十一日
家庭バレー 大熊町体育館
壮年ソフト 富岡第二中学校
卓球 双葉町体育館
庭球 浪江総合グラウンド(旧大堀中)
- ◆**郡総合体育大会**
期日：九月二十五日
会場 県立双葉高等学校
- ◆**町民体育祭**
期日：九月四日(第一日曜)
- ◆**日独スポーツ少年団交流**
期日：八月十一日
会場 大熊町公民館

消えゆく静岡・字名の由来

由来

古老の聞き伝えによると、静岡とは熊川鉄橋下の小部落である。現在の字名は静岡と反町の二字が合併して館となりまして、静岡と呼ばれる以前も館だったそうです。
明治二十四年頃、現在なら助役相当職の渡部久平氏(渡部茂さん 八十六歳)の父親が静岡県へ出張し、その地方の良さに感動され名産の茶種を持ち帰り、これを部落の人々に配り畑の境に蒔いたそうである。そして、字名も館から静岡と変えたそうです。
現在でもこの茶株が所々に残っており、二十年前ほどまでは、各家庭で自家製の香も高い静岡茶を自慢しあつたとか。ところが当部落の人は「どこの部落ですか」と問われると「館です」と答え、

文書に記名の際のみ静岡というのでは、この字名になじめなかったのも無理はなかったようです。静岡を名のる頃、こんな笑い話がありました。駅前にてタクシーを拾い「静岡まで」とお願いすると、運転手さんは変な顔をし、館と話すとうなずきながら走り出しました。そして信号待ちの間に無線でさも得意そうに「静岡までのお客を乗せたけどガソリンの補給はどこですのですか」と聞いているのです。それを聞いた事務所の方は、静岡イコール館ということを知っているので笑いながら「平でも水戸でもご自由に」と答えたのです。そのあと理由を知った運転手さんは、ぼやくことしきり「館までは何回も来たが、静岡といつて乗車したのはお客さんが初めてです」と……。

熊二区 坂本 甫氏談

家族みんなで

交通安全を話しあおう



生活改善グループで 花壇づくり奉仕

熊二区的生活改善グループ(管浪アヤさん他、会員四十名)では毎年、春になると会員総出で草花の蒔種、育苗に精をだす。そして六月の中は町内の公共施設に苗を植え付けし、晩秋まで町民の目を楽しませてくれる。

今年も、去る六月二十五日、小雨の降りしきる中を、会員達みんな役場を初め小中学校、農協、公民館等の庭にマリンゴールド、アゲラタム、サルビアの苗を植えつ



——草花の移植を行う
熊二区生活改善グループ——

けてくれた。一会員にきいてみると、立派な花を咲かせるには丈夫な苗を作ることであり、一番むずかしく苦労も多いとか、しかし、苦しさの中に花を咲かせる楽しさがあり会員みんなが張りきっているそうである。また会員相互の融和を保ち生活改善グループの事業推進にも役立っているそうである。

夏休みと子供

夏休みこそ、母と子がいっしょにいる時間も長く、ふれあひも多い子どもを知る上にもよいチャンスでもある。ふだん出来ない社会学習や、健康管理、治療、心の成長面などのびのびとさせたいものである。

それでこんなことを約束させてみてはどうだろうか。日記を書か

きれいな環境 会社も一役

夏がくれば思いたす

はるかな尾瀬、青い空、芹洋子さんのさわやかな歌声が流れてくる。今年もまた美しい自然にふれようと多くの人が尾瀬を訪れることだろう。ところが尾瀬を守る

人達の頭痛のたねは、何げなく投げ捨てられるゴミの数々。そこで今年も入口でゴミ袋を配り自分のゴミは持ち帰ってもらうようにしているとのこと。一日も早くゴミ袋をもらわなくても始末ができるように心掛けたいものである。

私がよく通行する通称東電道路(大野から東電に行く道路の意)はつい二・三年前までは、道の両側に敷きつめのように空きかん、ガラスビン、たばこの空箱等を投げ捨ててあったものだから、最近ほとんど見当らなくなった。

せるのです。文字や文章など気にせずあつさりと思うままを書かせ、そしてその日記に父親か母親が返事を記入するのです。友だちのようにあつさりです。そうすれば子どもたちもふだんなかなか心の中心までを口に出して言えないことも、気軽に書けるのではないのでしょうか。

子どもの生活や、ものの考え方などを知る上でも、また文字に表現する力も少しずつのうちに

不思議に思い近所の人にきいて

みたら東電で時々掃除をしているとのこと。ある日、東電の知人におききしてみたら次のようなことがわかった。東電を始め下請業者の管理者の打合せが月々あつて、そこで地元迷惑をかけるような道路わきの草刈りと清掃をし、また通勤者には決して窓から物を投げ捨てることのないよう指導監督しているとのことであつた。そこ

まで気を配られているとは知らなかつたので改めて感謝の意を表したい。これからは日増しに暑くなり山や海に仲間同志で、また、実族ぐるみでの行事も多くなろうが、公共の場を大切に汚すことなくきれいな環境で充分に心身を鍛えるようにしたいものである。

おちこぼれ

先日大野小学校で授業をみせていただいた。先生も児童も実に真面目であつた。

その中で特に感じたことは落ちこぼれのない授業ということであつた。よく見切り発車などといわれるが、全員覚えないうちに次に移

つてしまふ。これもやむを得ないと考えられるが、できない者は毎時間何も収穫なしに終つてしまふ。体育の時間であつた。上手下手があつたが、全員跳び箱をとりこすことができた。一人の落ちこぼれもないのである。私はかつて教職にあつたが、どうしても二・三人はとびこせなかつた。

一人の落ちこぼれも出さずに次の単位に移るようにしている先生に敬意を表したい。

(元教員)

(一主婦)

親切なお医者さん

私は先日バイクでケガをしまして。一寸傷は深いが大したこともないと思つて休んでいました。ところが夕方になると痛みがひどくなりどうにもなりません。息子の自動車にのせられて大野病院にゆきました。

もう勤務時間も終つてお医者さんも帰る時刻でしたのに一生懸命治療してくれました。入院を進められたが都合があつて家に帰りました。幸いその夜は余り痛むこともなく夜が明けました。私は今日もまた治療を受けようと思つてお医者さんにお話を聞くと、病状から電

話がありました。ゆうべは痛まなかつたかどうか。今日も早めに治療にいらつしやいと。私は大野病院のお医者さんの親切に心から感謝しました。(O生)

農民の道徳

川下の農家としてたいへん困ることは、田でとつた草を川に流されることである。たんぼ一面ビルモになつて手のつけようのなくなった経験のある私は、流れついたらビルモをみると身ぶるいする程で

植木 大切にしている植木が折れた場合、折れた部分をセロテープでくっつけておくと見事に更生する。洋服のほこり 指にセロテープのノリのついたほうを外側にして巻きつけ、洋服についているホコリを拭きとると、実にきれいになる。ブラシで取れないホコリも、これでオーケー。

靴 コンビネーションの靴をみがく時、境目のところにセロテープをはつてみかくと、異つた色で汚れない。顔のシワ 顔のシワをのばしてセロテープではつて眠ると、きれいななる。ウンではない。このほかに、まだいくらかでも便利な用法があると思ひます。

ある。水口(みなくち)に入つてくるとすぐに根が出て繁茂し、耕うん機で寸断されると何十株にもなつてしまふ。また先日道路に水が流れてきたので、せきに行つてみるとたぐさんのヒエがひつかかつていた。田ンボからとつたヒエを川に流したのもと思はれる。人の迷惑を何とも思わない人たちの心がよくなる。

これから実のつたヒエを抜いて川の近くにおいたり、道路わきにすてたりしないで仕末するようにしたいものである。(一農民)

夏はホントに用心

太陽の光がまぶしくなつてきました。七月二十一日から町内各学校が一斉に夏休みに入りました。子供達には嬉しくてたまらない「夏休み」ですが、また、親としては心配な季節でもあります。「夏にご用心」という歌の文句があります。ある調査によりますと、非行や不良化に走つた子供の八割が夏休み中にその動機を持つたという事があります。

町連Pとしましては、夏休み中の子供の安全や不良化防止のために会合をもちまして、その対策を話し合いました。本当は、何よ

りも家庭や社会の人々の協力が最も大切なことは言うまでもありません。今年の夏は、本町の児童生徒の中から、一人の事故者も、非行者も出さないうで夏休みが終われるように次のことについてご協力をお願いいたします。

書いてます

もう五年になる私達の書道講座は、毎週金曜日午後六時半から、公民館の一室で研修を続けております。初めた時より大分顔振れも変わりましたが、そんなことはどうでも良く、兎に角好きな者同志の集りというのは気も楽で、進歩は亀のようにのろくとも進歩していることも大切なことは言うまでもありません。

今年、真夏日とは撰氏三十度を越えた日を云うそうである。七日以上も真夏日がつゞき稲の豊作はまちがいなといわれる。あと味の悪い生産者米価、消費者米価の決定されたあとだけに豊作の陰にひそむ二つの影法師がうらめしい。

●孟蘭盆とは陰曆七月十五日に行う仏事。食器に種々の食物を盛つて祖先および父母の霊に供え冥福を祈る仏事。この平和に発展した大熊町に住む町民としてその幸福を味い霊を祭りたいものである。

●館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度で1主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

2 政治的な色彩をもたないもの、個人非難に属する抽象的でないもので常に建設的なもの。

●館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度で1主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

●館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度で1主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。

編集後記

●真夏日とは撰氏三十度を越えた日を云うそうである。七日以上も真夏日がつゞき稲の豊作はまちがいなといわれる。あと味の悪い生産者米価、消費者米価の決定されたあとだけに豊作の陰にひそむ二つの影法師がうらめしい。

(井戸川)

(大熊町連P)